

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

(内子高等学校)

学校番号(33)

評 価 実 施 日		令和 8 年 2 月 26 日(木)	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	越 智 益 子	同窓会副会長	
	宮 岡 圭 介	文化・体育後援会副会長	書面
	白 石 仁	P T A 会長	
	石 崎 耕一郎	内子中学校教頭	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (1) 教育活動全般 地域と協力した活動が根付きつつある。 生徒は以前よりも進化し、自己肯定感を強められている。 (2) 魅力化・魅力発信 Instagramは効果的なので、フォロー数も増やして拡散するとよい。 様々な部活動による中学生との交流は、中学校としても大変よかった。 2 学校運営への提言 (1) 学校の存続について コミュニティ・スクールの導入により、地域との活動を拡充してほしい。また、地域の声もしっかりと拾い上げてもらいたい。 中学生は部活動を中心に進路を考えている面もあるので、活動を充実させるとよい。 公営塾には、中学生の保護者も期待している。 (2) 中高の連携について 小学校・中学校・高校の交流をさらに広げてもらいたい。	・総合的な探究の時間を中心に、地域との関わりを深め、地域に貢献できる活動へと発展させていきたい。 ・校内及び校外において、様々な教育活動や多様な人々との交流を通して、生徒の人的成長を促すよう努めていきたい。 ・掲載内容、更新頻度、外部からのリンク等も含めて、Instagramをより有効に活用できるようにしていきたい。 ・各部の実情も踏まえながら、実現可能な交流活動をさらに拡充させていきたい。 ・来年度から設置される学校運営協議会において、地域を代表する委員の方々と熟議を重ね、学校と地域が一体となった様々な活動に取り組んでいきたい。 ・魅力化コーディネーター（地元自治体採用）に力を貸してもらい、より多くの企画実現に努めたい。 ・新設eスポーツ部や、部活動交流・部活動体験会等について、「内子高校だより」を通じて今年度以上に情報発信していきたい。 ・地元自治体と連携した事業であるため未確定の部分も多いが、本校の魅力の一つとして定着していくことを目指したい。 ・本校の魅力化コーディネーターと小中学校の地域コーディネーターとの連携を図り、新たな交流企画創出にも努めたい。